

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	4392800134		
法人名	社会福祉法人慈光会		
事業所名	グループホーム津森倶楽部まどかユニット		
所在地	熊本県上益城郡益城町大字寺中1番地1		
自己評価作成日	令和8年2月2日	評価結果市町村受理日	令和8年4月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	慈光会ホームページにて情報公開
----------	-----------------

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	グループホーム津森倶楽部 運営推進委員会(令和7年度運営推進委員に依頼)
所在地	
評価日(書類送付)	令和8年 2月20日(運営推進会議にて依頼)

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

令和7年度においても、新型コロナ・インフルエンザ等の施設内感染者を出すことなく経過した1年となりました。利用者及びご家族の皆様においては、面会や外出等についての制限を一部緩和しつつ、交流するイベントを企画・実施してまいります。  
 年々大雨等の自然災害が増加傾向にありますが、利用者様の安全を第一に考え、平時から災害時に備えた訓練・備蓄を行い、必要に応じて法人内施設への避難など迅速に対応し、利用者及び家族の皆様が安心・安全に生活していただけるように、引き続き取り組んでいきます。  
 これからも地域の方々との交流や外出支援など地域資源を活用しながら、地域の方々から必要とされるような、地域に根付いた施設づくりを目指して参ります。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

利用者の事をよく考えて、食事・行事等工夫されており、また大雨、台風等の際は早め早めの避難等されており、今後共、地域に密着された運営を期待しております。  
 津森倶楽部の理念が職員に浸透しており、管理者と職員が一体となって目標を達成しようとする姿勢が伺える。利用者に関わる動向が職員全体に共有されており、「報・連・相」が徹底されている。そのことが早期発見、早期対応に繋がっており、安心・安全な環境の維持向上に取り組まれており信頼度が高くなっている。  
 感染症対策に留意されながら可能な範囲工夫され、外出支援や行事を取り入れられ、また地域との交流の機会も大事にされていると思います。  
 また家族との情報共有についてもICTを活用され、日々の様子を把握しやすくご家族の安心につながっていると思われまます。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 ○ 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている ○ 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが ○ 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果 まどかユニット

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設時から継続している事業所独自の理念を職員で共有し、理念に基づき日々のケアを実践している。	これまでの報告内容を見聞する限り、問題は感じず関係者間で共有されています。理念を継続するは大変でしょうが、継続ができれば立派な運営につながっていくと思います。入居者も津森校区の人が数多くおられるようで、今後も宜しく願いたい。		様々な地域との交流を図ってほしい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者の方々が地域との繋がりが途絶えないように、交流の機会を持つようにしている。	交流の機会が持てるように、工夫されています。運営推進会議で、各区長の方も出席されており、つながりがみられる。彼岸花街道の時期には、よく参加いただいています。正月の宮参りとか、彼岸花の見学とか、地域との交流も良く行っておられる様子。定期的な交流の場も開かれており、コミュニケーションも良好だと思われる。		今後も継続して、地域の方との交流に努めて頂きたい。利用者の皆さんと、子供達との触れ合いの場が取れたら良いなあと思います。※ひな祭りや、端午の節句での触れ合いなど。様々な感染症等への対応で、地域の方との交流の機会を作る事もご苦労されているかと思えます。感染症の流行状況に応じて、交流の機会を作って下さい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご入居や施設サービスへの問い合わせがあった際は、家族の思いを受け止め、認知症の方々への支援について提案・説明をしている。			

己 自部外	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3) ○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービス 向上に活かしている	安定して2ヶ月毎に会議を開催する ことが出来るようになり、運営推進 委員の皆様から頂いた意見を、 サービスの向上に活かしている。	2か月毎に開催され、運営推進委員からの 意見をよく聞かれています。 運営推進会議に出た意見が、反映されてい るよう感じる。 毎回ご案内を頂いており、色々の行事の報 告を頂いており、そんな小さなことまでと、利 用者のお一人お一人行動が把握出来ている ことに感心致しました。 出来る限り運営推進会議に参加させて頂い ているが、皆様活発に意見を述べられてお り、今後も続けて頂きたい。 運営推進会議では、運営状況について事細 かに説明され、質問についてもしっかりと対 応いただいております。 委員も殆ど参加されており、関心の高さが伺 える。 定期的に運営推進会議を行って、事業内容 やサービス提供について報告を行い、意見 をもらっている。利用者家族や行政、地域住 民等の参加がある。	2か月に1回の会議で、意見が出る ような工夫をされている。 利用者の気持ちや考えを理解す るために、利用者の参加があつて も良いのではないかと。以前は参加 されていたと思うので、利用者の 声を直接聴く機会があると、包括 支援センターとしてもありがたい。
5	(4) ○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事 業所の実情やケアサービスの取り組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように取り 組んでいる	継続して運営推進会議の委員とし て、会議に参加いただいております。ま た事故発生時や介護保険に関する ことについて、その都度報告・連 絡・相談しており、協力関係が築け ていると思う。	事故発生時や介護保険に関して、報告・連 絡・相談を受けています。 役場や地域包括の方との、情報共有を行わ れている。 過去の職員・利用者の増減や、施設内での 事故・急病等が細かく報告され、開かれた施 設運営を推進されていると思われる。 細かなことも包み隠さず報告されている。とく に事故報告では、発生の内容、対応、今後 のルール化など対策がとられており、良好な 関係が築かれています。 定期的に運営推進会議を行って、事業内容 やサービス提供について報告を行い、意見 をもらっている。	日頃から密に連携を取られてるた め、継続して頂きたい。 包括支援センターとしても、地域 の事業所と一緒に地域に向けて 取り組みができたかと考えておりま すので、その際はご協力ください。

己	自部外	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践  代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、法人全体で法定研修について年間計画を作成し、職員全員研修を受講している。また毎月会議にて身体拘束防止及び虐待防止に関するテーマを決め、身体拘束が無いケアの実践に取り組んでいる。	しっかりと実施されています。研修を行っているようなので安心できる。身体拘束を目にした事はない。	継続して研修は行って頂きたい。運営推進会議でも、身体拘束とは何かを地域の方々にお話することも、身体拘束をしない施設としての取り組みになるのではないかと思う。職員と利用者様との信頼関係が、最も大切です。相手の立場に立った、日常業務の推進にご尽力をお願いします。包括支援センターと町で連携し、高齢者虐待防止に関する出前講座を実施しています。次年度も継続予定なので、ぜひご活用ください。
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についても身体拘束同様に、法人全体で法定研修について年間計画を作成し、職員全員研修を受講している。また毎月会議にて身体拘束防止及び虐待防止に関するテーマを決め、虐待が起こらないケアの実践に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についても、法人全体で法定研修についての年間計画を作成し、職員全員受講している。また社外研修が開催される際には、積極的に参加し知識の習得に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設利用開始される際には、利用契約内容、重要事項等について細かく説明し、不安や不明な点等ないか確認を行い、ご理解頂いた上で契約を交わしている。		

己 自部外	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議へ家族代表に参加していただき、会議開催時には、ご家族から聞かれた意見や要望等があった際には報告している。また毎年外部評価に際しては、ご家族全員へ施設サービスへのアンケート調査を実施しており、サービスの向上へ活かしている。	家族との連携が密に取れています。ご家族代表だけではなく、適宜ご家族と連絡している様子。利用者の健康や生活面での変化は、その都度電話やメールにて連絡があり、対処してもらっている。定期的に運営推進会議を行って、事業内容やサービス提供について報告を行い、意見をもらっている。利用者家族や行政、地域住民等の参加があり、直接家族や地域の意見を聞く機会を設けている。	何かあった時ではなく、元気な様子も伝えられていると思うが、継続して頂きたい。利用者の気持ちや考えを理解するために、運営推進会議へ利用者の参加があっても良いのではないかと考えます。
11	(7) ○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月リーダー会議・ユニット会議を開催し、サービスの質の向上、業務の生産性の向上に努めている。	毎月話し合いを行っているようなので、継続して頂きたい。	業務の生産性の向上のために、DXを勧めたい。現場の職員が意見を言いやすい雰囲気を作り、サービスの質の向上や業務改善に繋げて下さい。
12	○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の能力に応じた目標を半期毎に設定し、人事考課にて業務内容を評価している。また毎月職員の希望を取り入れた勤務表を作成し、職員が働きやすい職場環境作りを努めている。		
13	○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年度より、法人全体で法定研修を含めた研修について、eラーニングを取り入れ、法定研修以外の項目においても職員個々で自由に研修を受講できるようになった。		
14	○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社外研修への参加の機会を通じて、近隣施設との関係性を持ち情報交換することで、サービスの質の向上に努めている。		

己 自部外	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	○初期に築く本人との信頼関係  サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様へ入居される際には、心配事やご要望等がないか確認し、安心して生活が出来るように、現場スタッフと情報共有を行い、意向に添える様に努めている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係  サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居契約の際に、重要事項・利用契約等について説明し、入居後の生活において、不安なことやご要望等がないか確認し、家族が安心されるような関係づくりに努めている。		
17	○初期対応の見極めと支援  サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	基本、入居当日にご家族とのサービス担当者会議を開催しており、入居後の生活について、訪問診療等の対応が可能なことなど説明している。		

己 自部外	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な介護にならない様に、掃除や洗濯物等は職員だけで行わず、本人の出来る事を入居者と一緒に行うようにしている。		
19	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時は直接ご家族とお話できる機会のため、最近のご様子等を伝えコミュニケーションをとり、今後の支援に繋げる様にしている。又月1回、写真付きで近況報告書を送付している。		
20	(8) ○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	季節に応じて近くの公園に花見や、新年には近くの神宮に初詣に出かけたり また地域のボランティアの方とBBQを開催し、馴染みの場所などの関係が途切れない様にしている。	季節に応じての外出や、地域の方との関係を、しっかりと支援されています。地域の方々とのBBQは、地域の方も喜ばれていた。利用者様にとっては、大変楽しみにされていることと思います。気分がリフレッシュできて元気が出るのではないのでしょうか。スタッフの皆様は大変ですが、よろしくお願い致します。季節の行事や歳祝いなど、気にかけていただき、家族としては大変ありがたく思っています。職員の皆さん皆さんが、色々工夫・企画されて、催しや会は利用者様のより思い出づくりとなり、心の安定となります。	地域の方々との交流イベントは継続して欲しい。暖かくなったら、外での散歩も気持ちが良いです。感染対策に留意しつつ外出行事を行い、利用者の方々の気分転換や体力低下予防、地域との交流の機会を持って下さい。
21	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	話が合う方と同じテーブルにしたり、一緒に洗濯物を畳み等の家事手伝いをしていただき、入居者同士が関わられるようにしている。		
22	○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後においても、利用者・ご家族ともに不安な想いをされない様に、必要に応じて退所先と連携した支援を行っている。		

己 自部外	項 目	外部評価		
		自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	(9) ○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居後も利用者一人ひとりに寄り添い、不安なく安心していただける様に意向及び入居前の生活状況を把握し、支援に繋げられるように努めている。	職員の方々の工夫が見られる。利用者様に寄り添った対応がとられており、良好だと感じています。本人の意向や希望を把握し、職員の皆様に共有、実現に向けての取り組み素晴らしいと思います。	入居者様との会話の時間を継続し行って欲しい。利用者、ご家族様との話し合いや意見交換が重要だと思います。今後も本人の望む暮らしの実現に向け、職員の皆様同じ方向での支援をお願いします。
24	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に、ご家族や入居前の担当ケアマネージャー等の関係者へ、生活歴や趣味、身体状況について確認している。		
25	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居後については、担当職員が本人の意向や状態について把握し、24時間シートを作成しており、シート内容を基に、担当職員へ確認しながら状態の把握に努めている。		

己 自部外	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10) ○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者個々の課題について、各担当職員より抽出し、毎月ミニカンファレンスで問題点・対応策について話し合い、施設だけで対応が困難な場合は状況に応じて家族や医療機関などに相談を行っている。	利用者個々の課題について、各担当職員より抽出し、毎月ミニカンファレンスで問題点・対応策について話し合い、施設だけで対応が困難な場合は、状況に応じて家族や医療機関などに相談を行っている。近所の方が高齢で入居されているのですが、そのご家族のご夫婦が大変よく面倒を見ていただいていると、お聞きしています。毎月請求書に同封されている、利用者本人の写真や健康状態・近況を送っていただき、毎月楽しみにしています。項目に基づき自己評価し実践されていることで、利用者の皆さんが安心して暮されているものと判断しています。	定期的な開催と、課題があった際には臨時でミニカンファレンスを開催する等、上がった課題に対し、できるだけ速やかに対応できるようにお願いします。課題によっては、包括支援センターとしても協力できる部分もあるかと思いますので、いつでもご相談ください。
27	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録ツールを活用し、利用者の心身の変化があった際には、記録を行い情報共有を行い、必要に応じて毎月のカンファレンスで対応を検討して介護計画の見直しに反映している。		
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の状況に合わせ、求められるニーズに柔軟に対応出来るように、買い物や受診、外泊等対応している。		
29	○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設周辺へ散策や外出したり、地域の方々より、門松や野菜などの暖かい支援をいただく機会があり、出来る限りの地域と交流出来るように支援している。		

己 自部外	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11) ○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を受診される際は、主治医へ施設での生活状況を記載した情報書を作成している。訪問診療を希望された場合は、協力医療機関より毎月訪問診療がある。	毎月の訪問診療があり安心。最近、歯科医の訪問診療も始まり、助かっています。良好だと存じます。	訪問診療は、継続して行って頂きたい。利用者の皆様の日々の健康管理に努め、急な体調変化にも対応できる体制づくりをお願いします。
31	○看護職との協働  介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は施設看護師と、利用者の健康状態について情報共有を行い、必要に応じてかかりつけ医や協力医療機関へ相談しながら、適切な医療支援を行っている。		
32	○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際には、入院先へ施設での生活状況について情報提供を随時行い、緊急時に備えて毎月持新規利用者や状態観察者について協力医療機関との情報交換を行っている。		
33	(12) ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の状態変化に合わせて、施設での対応が困難となる前に、ご家族と今後望まれる生活・希望に添える様に、法人施設や協力医療機関と連携している。	本人・家族の望まれる希望に添える様、法人施設や協力医療機関と連携し、支援に取り組まれています。法人の施設に、様々な施設があるため、安心。良好だと存じます。	ご家族も説明を行われると安心と想うので、継続して頂きたい。住み慣れたグループホームで、家族や職員の皆様に見守られながら、最期を迎える事ができる環境作りができると思います。
34	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の状態の急変や、身体へ影響のある事故発生時に備えて、職員全員定められた研修を受講しており、また心肺蘇生法やAEDの取り扱いについても、実技訓練を実施している。		

己 自部外	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13) ○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害発生時におけるBCPを策定しており、台風や大雨等による施設への影響が考えられる際は、法人関連施設へ事前避難を実施している。	BCPを作成し、防災訓練を実施しています。 大雨や台風時には、法人関係施設への避難を実施しています。 昨年度から地区の区長を務めているのですが、報道機関よりも敏感に対処されているのにおどろきました。地区への連絡も密にされています。 毎回、早めの避難を実施していただき安心します。 定期的に防災訓練及び防災教育を実施されており、法人との協力体制も取れていて、事前の避難訓練等実施されている。	入居者、職員の安全のために継続して行って欲しい。 自然災害は施設そのものの被害が考えられるので、日頃の機器や設備のメンテナンス、及び老朽化への見極め等が必要です。 万一の火災等については、避難訓練等、職員への継続的な体制構築にご尽力下さい。 地域住民の方々との連携体制も整っており、有事の際に協力いただけるよう、日頃からの関係作りをお願いします。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	(14) ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ひとり一人の性格や認知症の状態を把握して、否定せず寄り添った声掛けが出来るようカンファレンスで話し合い、統一した声かけが出来るようにしている。	寄り添うケアを行っている。 優しい声掛けや、否定的な言葉は使用しない様、心掛けされているのに感心します。	声掛けや対応で、疑問に思ったことはないが、環境によって、馴れ馴れしく見える事があるかもしれない為、ケアについて振り返り、指摘しあえる環境を継続して頂きたい。 自己評価と実践状況通り、継続して実施願います。 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保のため、利用者の方々の個性や認知症の状態等の把握に努め、職員間でケアの統一が図れるよう願います。
37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	好きな食べ物など嗜好を聞いて、お誕生日に本人の好みの物を提供したり、お茶の時間に好きな飲み物を聞いて提供している。		
38	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日どのように過ごしたいか、希望にそって支援している	昼食後は居室で休みたい方、居室で過ごしたい方等おられる為、自由に過ごせるように支援している。		

己 自部外	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回の割合にて散髪されているが、ご本人の希望で1ヶ月毎に散髪トしたい等の要望がある時は要望に応じている。 お誕生日のスナップ写真を撮る際に、薄化粧すると喜ばれている。		
40	(15) ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	旬な食材、行事食など、献立には色々なメニューを考えて取り入れている。 その日の献立を伝えたり、一人ひとりに合う食事形態で提供している。 食後にお盆拭きなどのお手伝いを、取り組んでいただいている。	工夫をして、利用者に合わせ提供しています。 食事について、美味しそうで、行事食は特に楽しみにされていると思う。 この食事は、うらやましい。 季節や行事に合わせて、視覚的にも食事を楽しめる配慮がなされていると思います。 利用者と一緒に準備や片付け等行われており、利用者の自立支援にもつながると思われれます。	工夫され、できることを入居者・職員が一緒に行っているため、継続して欲しい。 自己評価と実践状況通り、継続して実施願います。
41	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を記録し、不足している場合は好みのものを提供し補充している。 個々の状態に合わせて、刻んだり、ミキサーにかけて提供している。		
42	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に口腔内清潔保持のため、声掛けて個々の能力に応じて、職員が見守ったり介助をしている。義歯使用者は、就寝前に洗浄液に浸している。歯科医により、口腔ケアや往診を受けられている方もいる。		
43	(16) ○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自立した排泄が行えるよう、排泄パターンを把握し、定期的な声掛けや誘導を行い、排泄意欲や機能を維持するよう支援している。 排泄パターンや排泄用品の見直しを、職員間で定期的に話し合いを行っている。	定期的な話し合いで、その方の能力を維持できている。 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立にむけた支援に取り組まれていると思います。	自己評価と実践状況通り、継続して実施願います。 定期的に見直しを行い、自立に向けた支援をお願いします。

已 自部外	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況の確認を行い、記録にて情報共有を行い、水分や乳製品の提供をしている。 排便状況を把握し、便秘時は主治医へ相談し、下剤の調整を行っている。		
45 (17)	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2～3回の入浴支援を行っており、殆どの方が湯船に浸かる事が出来ている。毎回お湯を入れ替え、入浴剤を使用したり、季節の行事の時は、柚子や菖蒲をお湯に入れて楽しんでいただいている。 入浴中の職員との会話も楽しい時となっている。入浴後は、保湿剤や処方されている軟膏の塗布等の、皮膚ケアも行っている。	入浴の工夫をされている。 利用者の入浴を見学したことがないので分かりませんが、利用者が皆さん清潔感があり臭いも感じられないので、支援がなされていると思われます。 自己評価に基づき、一つひとつがキッチンとマニュアル化され、工夫されたことが伺えます。 利用者様との会話や、個人に合った支援で、喜んで入浴されている姿が目に見えます。 入浴を楽しみにされている方は、多いと思います。	入浴剤を選んでいただいたり、季節を感じる事が出来ると思うので、継続して欲しい。 お湯を入れ替えたり、入浴剤や行事の取り入れ等大変かと思いますが、皆様が入浴を楽しめるように、今後も願います。
46	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	季節に合った布団、シーツを使用し、一人ひとりに合った居室の温度調節をしている。冬は乾燥対策として、濡らしたタオルを居室に掛け、洗面台に水を少し溜めている。希望に合った部屋の明るさ、電気を点ける場所を変えている。		
47	○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人のファイルにて処方箋を管理し、いつでも確認出来るようにしている。薬の変更がある時は、記録に残し、情報を共有出来るようにしている。服薬時は、名前と日付を声を出して確認している。飲み忘れが無いように、職員同士でダブルチェックを行っている。		

己 自部外	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48	○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物干し、洗濯物たたみ、お盆拭き等のお手伝いをさせていただいている。ウッドデッキに、花や野菜の苗を植えて、水やりや収穫する楽しみを一緒に行っている。天気が良い時は、お茶会や日光浴をしたり、レクリエーション活動の一環として、バーベキューや、焼き芋会を行い、気分転換をさせていただいている。		
49	(18) ○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や、季節に合った所へドライブに行くようにしている。鯉のぼりや、紅葉を見学をしたり、彼岸花を見学に散歩をしたり、お正月には近くの神社に初詣に行っている。家族の方からの希望にて、外食や外泊に出かけられるように支援している。	季節に合った場所へ散歩やドライブに出かけています。 季節に合った外出をされている。 継続を希望いたします。	気候の良い日に外出をすると喜ばれる。多くの写真を撮り、ご家族が見ると喜ばれるので、継続して欲しい。継続して、信頼される施設を目指して頑張ってください。 利用者の方々の気分転換や、地域との交流の機会を確保するためにも大変かと思いますが、今後も外出や外食等の非日常を楽しめる企画をお願いします。
50	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	消耗品などの必要な物の購入については、ご本人の預り金から購入し対応している。		
51	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を持たれている方は、ご自分でご家族に連絡される方もいらっしゃるが、利用者からご家族への連絡の希望があった際は、職員がご家族へ連絡し電話対応を行っている。		
52	(19) ○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	バリアフリーで各居室やリビング等、温湿度計を設置しており、快適な環境となるように空調管理し配慮を行っている。 季節の物を飾って、生活に彩りを持たせる工夫を行っている。	利用者の方が居心地よく過ごせる工夫がされています。 季節に合った設えが行われている。 施設内の温度管理等は行われている。 居心地のより共有空間づくりのために、環境整備に配慮されていると思います。	季節を感じることは、その季節を思い出ず会話になると思うので、継続して頂きたい。 継続して、信頼される施設を目指して頑張ってください。 今後も利用者の方と一緒に、心地よい空間づくりに努めてください。

已 自部外	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ユニット外の共有空間に椅子を設置しており、ユニット外にも居場所作りを行っている。		
54 (20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用されていた物を持ち込んでいただいたり、本人が希望された可能な物を置いていただき、快適な空間となるように臭い等へも配慮している。	その方に合った、空間づくりが出来ている。 居心地よく過ごせる居室の配慮のため、利用者の方の使い慣れた物や写真等を、持ち込むことができるよう配慮されていると思います。	その方の思い出の物や、使い慣れた物があると安心につながるため、継続して頂きたい。 継続して、信頼される施設を目指して頑張ってください。
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	動線には物を置かない、車椅子利用者が通れるような幅の確保や、テーブルや洗面台の高さに配慮し、歩行時に疲れた時にいつでも座れる様に椅子を設置している。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	4392800134		
法人名	社会福祉法人慈光会		
事業所名	グループホーム津森倶楽部なごみユニット		
所在地	熊本県上益城郡益城町大字寺中1番地1		
自己評価作成日	令和8年2月2日	評価結果市町村受理日	令和8年4月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	慈光会ホームページにて情報公開
----------	-----------------

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	グループホーム津森倶楽部 運営推進委員会(令和7年度運営推進委員に依頼)
所在地	
評価日(書類送付)	令和8年 2月20日(運営推進会議にて依頼)

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

令和7年度においても、新型コロナ・インフルエンザ等の施設内感染者を出すことなく経過した1年となりました。利用者及びご家族の皆様においては、面会や外出等についての制限を一部緩和しつつ、交流するイベントを企画・実施してまいります。  
 年々大雨等の自然災害が増加傾向にあります。利用者様の安全を第一に考え、平時から災害時に備えた訓練・備蓄を行い、必要に応じて法人内施設への避難など迅速に対応し、利用者及び家族の皆様が安心・安全に生活していただけるように、引き続き取り組んでまいります。  
 これからも地域の方々との交流や外出支援など地域資源を活用しながら、地域の方々から必要とされるような、地域に根付いた施設づくりを目指して参ります。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

利用者の事をよく考えて、食事・行事等工夫されており、また大雨、台風等の際は早め早めの避難等されており、今後共、地域に密着された運営を期待しております。  
 津森倶楽部の理念が職員に浸透しており、管理者と職員が一体となって目標を達成しようとする姿勢が伺える。利用者に関わる動向が職員全体に共有されており、「報・連・相」が徹底されている。そのことが早期発見、早期対応に繋がっており、安心・安全な環境の維持向上に取り組まれており信頼度が高くなっている。  
 感染症対策に留意されながら可能な範囲工夫され、外出支援や行事を取り入れられ、また地域との交流の機会も大事にされていると思います。  
 また家族との情報共有についてもICTを活用され、日々の様子を把握しやすくご家族の安心につながっていると思われまます。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果 なごみユニット

自己評価	外部評価	項目		
		自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1	(1)	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>開設時から継続している事業所独自の理念を職員で共有し、理念に基づき日々のケアを実践している。</p> <p>これまでの報告内容を見聞する限り、問題は感じず関係者間で共有されています。理念を継続するは大変ですが、継続ができれば立派な運営につながっていくと思います。入居者も津森校区の人が数多くおられるようで、今後も宜しく願いたい。</p>	<p>次ステップに向けて期待したい内容</p> <p>様々な地域との交流を図ってほしい。</p>
2	(2)	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>利用者の方々が地域との繋がりが途絶えないように、交流の機会を持つようにしている。</p> <p>交流の機会が持てるように、工夫されています。運営推進会議で、各区長の方も出席されており、つながりがみられる。彼岸花街道の時期には、よく参加していただいています。正月の宮参りとか、彼岸花の見学とか、地域との交流も良く行っておられる様子。定期的な交流の場も開かれており、コミュニケーションも良好だと思われる。</p>	<p>今後も継続して、地域の方との交流に努めて頂きたい。利用者の皆さんと、子供達との触れ合いの場が取れたら良いなあと思います。※ひな祭りや、端午の節句での触れ合いなど。様々な感染症等への対応で、地域の方との交流の機会を作る事もご苦労されているかと思えます。感染症の流行状況に応じて、交流の機会を作ってください。</p>
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>ご入居や施設サービスへの問い合わせがあった際は、家族の思いを受け止め、認知症の方々への支援について提案・説明をしている。</p>	

已 自部外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3) ○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこの意見をサービス 向上に活かしている	安定して2ヶ月毎に会議を開催する ことが出来るようになり、運営推進 委員の皆様から頂いた意見を、 サービスの向上に活かしている。	2か月毎に開催され、運営推進委員からの意 見をよく聞かれています。 運営推進会議に出た意見が、反映されてい るよう感じる。 毎回ご案内を頂いており、色々の行事の報 告を頂いており、そんな小さなことまでと、利 用者のお一人お一人行動が把握出来ている ことに感心致しました。 出来る限り運営推進会議に参加させて頂い ているが、皆様活発に意見を述べられてお り、今後も続けて頂きたい。 運営推進会議では、運営状況について事細 かに説明され、質問についてもしっかりと対 応いただいております。委員も殆ど参加され ており、関心の高さが伺 える。 定期的に運営推進会議を行って、事業内容 やサービス提供について報告を行い、意見 をもらっている。利用者家族や行政、地域住 民等の参加がある。	2か月に1回の会議で、意見が出 るような工夫をされている。 利用者の気持ちや考えを理解す るために、利用者の参加があつて も良いのではないか。以前は参加 されていたと思うので、利用者の 声を直接聴く機会があると、包括 支援センターとしてもありがたい。
5	(4) ○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事 業所の実情やケアサービスの取り組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように取 り組んでいる	継続して運営推進会議の委員とし て、会議に参加いただいております。また 定期的に施設状況報告している。また 事故発生時や介護保険に関する ことについて、その都度報告・連絡・ 相談しており、協力関係が築けてい ると思う。	事故発生時や介護保険に関して、報告・連 絡・相談を受けています。 役場や地域包括の方との、情報共有を行わ れている。 過去の職員・利用者の増減や、施設内での 事故・急病等が細かく報告され、開かれた施 設運営を推進されていると思われる。 細かなことも包み隠さず報告されている。とく に事故報告では、発生の内容、対応、今後の ルール化など対策がとられており、良好な 関係が築かれています。 定期的に運営推進会議を行って、事業内容 やサービス提供について報告を行い、意見 をもらっている。	日頃から密に連携を取られてるた め、継続して頂きたい。 包括支援センターとしても、地域 の事業所と一緒に地域に向けて 取り組みができたかと考えており ますので、その際はご協力くださ い。

已 自部外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5) ○身体拘束をしないケアの実践  代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、法人全体で法定研修について年間計画を作成し、職員全員研修を受講している。また毎月会議にて身体拘束防止及び虐待防止に関するテーマを決め、身体拘束が無いケアの実践に取り組んでいる。	しっかりと実施されています。研修を行っているようなので安心できる。身体拘束を目にした事はない。	継続して研修は行って頂きたい。運営推進会議でも、身体拘束とは何かを地域の方々にお話することも、身体拘束をしない施設としての取り組みになるのではないかと思う。職員と利用者様との信頼関係が、最も大切です。相手の立場に立った、日常業務の推進にご尽力をお願いします。包括支援センターと町で連携し、高齢者虐待防止に関する出前講座を実施しています。次年度も継続予定なので、ぜひご活用ください。
7	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についても身体拘束同様に、法人全体で法定研修について年間計画を作成し、職員全員研修を受講している。また毎月会議にて身体拘束防止及び虐待防止に関するテーマを決め、虐待が起こらないケアの実践に取り組んでいる。		
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についても、法人全体で法定研修についての年間計画を作成し、職員全員受講している。また社外研修が開催される際には、積極的に参加し知識の習得に努めている。		

已 自部外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設利用開始される際には、利用契約内容、重要事項等について細かく説明し、不安や不明な点等ないか確認を行い、ご理解頂いた上で契約を交わしている。		
10	(6) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議へ家族代表に参加していただき、会議開催時には、ご家族から聞かれた意見や要望等があった際には報告している。また毎年外部評価に際しては、ご家族全員へ施設サービスへのアンケート調査を実施しており、サービスの向上へ活かしている。	家族との連携が密に取れています。ご家族代表だけではなく、適宜ご家族と連絡している様子。利用者の健康や生活面での変化は、その都度電話やメールにて連絡があり、対処してもらっている。定期的に運営推進会議を行って、事業内容やサービス提供について報告を行い、意見をもらっている。利用者家族や行政、地域住民等の参加があり、直接家族や地域の意見を聞く機会を設けている。	何かあった時ではなく、元気な様子も伝えられていると思うが、継続して頂きたい。利用者の気持ちや考えを理解するために、運営推進会議へ利用者の参加があっても良いのではないかと考えます。
11	(7) ○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月リーダー会議・ユニット会議を開催し、サービスの質の向上、業務の生産性の向上に努めている。	毎月話し合いを行っているようなので、継続して頂きたい。	業務の生産性の向上のために、DXを勧めたい。現場の職員が意見を言いやすい雰囲気を作り、サービスの質の向上や業務改善に繋げて下さい。
12	○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の能力に応じた目標を半期毎に設定し、人事考課にて業務内容を評価している。また毎月職員の希望を取り入れた勤務表を作成し、職員が働きやすい職場環境作りを努めている。		
13	○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年度より、法人全体で法定研修を含めた研修について、eラーニングを取り入れ、法定研修以外の項目においても職員個々で自由に研修を受講できるようになった。		
14	○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社外研修への参加の機会を通じて、近隣施設との関係性を持ち情報交換することで、サービスの質の向上に努めている。		

已 自部外	項 目	外部評価	
		自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
15	○初期に築く本人との信頼関係  サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様へ入居される際には、心配事やご要望等がないか確認し、安心して生活が出来るように、現場スタッフと情報共有を行い、意向に添える様に努めている。	
16	○初期に築く家族等との信頼関係  サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居契約の際に、重要事項・利用契約等について説明し、入居後の生活において、不安なことやご要望等がないか確認し、家族が安心されるような関係づくりに努めている。	
17	○初期対応の見極めと支援  サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	基本、入居当日にご家族とのサービス担当者会議を開催しており、入居後の生活について、訪問診療等の対応が可能なことなど説明している。	
18	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場にかかわらず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「～してあげている」ではなく、「どうしましょうか」と声掛けを行い、本人のペース、意志を大切にしている。利用者へ役割を持っていただき、生活を共にする事で出来る事、出来ない事を固定せずに、その日の状態、利用者の反応次第で対応している。	
19	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場にかかわらず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の言葉から、御家族が来荘時に情報や思いをお尋ねし、その内容を元にケアの中で活用している。御家族が次回も来荘して下さるよう、日頃の様子と合わせて状態についても言葉掛けを行っている。コミュニケーションを図り、関係作りをしている。	

已 自部 外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8) ○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご希望があれば、御家族の同意のもと御家族以外の近所の方の面会対応が出来る。	季節に応じての外出や、地域の方との関係を、しっかりと支援されています。地域の方々とのBBQは、地域の方も喜ばれていた。利用者様にとっては、大変楽しみにされていることと思います。気分がリフレッシュできて元気が出るのではないのでしょうか。スタッフの皆様は大変ですが、よろしくお願い致します。季節の行事や歳祝いなど、気にかけていただき、家族としては大変ありがたく思っています。職員の皆さん皆さんが、色々と工夫・企画されて、催しや会は利用者様のより思い出づくりとなり、心の安定となります。	地域の方々との交流イベントは継続して欲しい。暖かくなったら、外での散歩も気持ちが良いです。感染対策に留意しつつ外出行事を行い、利用者の方々の気分転換や体力低下予防、地域との交流の機会を持って下さい。
21	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	安心して過ごしていただけるような環境を作り、利用者同士会話されている時は職員も間に入り、他の方を含めて孤独な気持ちにならないよう努めている。またトラブルになりそうな場合は、仲裁に入りお互いに不快な気持ちにならないよう対応している。		
22	○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後においても、利用者・ご家族ともに不安な想いをされない様に、必要に応じて退所先と連携した支援を行っている。		

已 自部外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	(9) ○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居後も利用者一人ひとりに寄り添い、不安なく安心していただける様に意向及び入居前の生活状況を把握し、支援に繋げられるように努めている。	職員の方々の工夫が見られる。利用者様に寄り添った対応がとられており、良好だと感じています。本人の意向や希望を把握し、職員の皆様に共有、実現に向けての取り組み素晴らしいと思います。	入居者様との会話の時間を継続し行って欲しい。利用者、ご家族様との話し合いや意見交換が重要だと思います。今後も本人の望む暮らしの実現に向け、職員の皆様同じ方向での支援をお願いします。
24	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に、ご家族や入居前の担当ケアマネージャー等の関係者へ、生活歴や趣味、身体状況について確認している。		
25	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居後については、担当職員が本人の意向や状態について把握し、24時間シートを作成しており、シート内容を基に、担当職員へ確認しながら状態の把握に努めている。		

已 自部外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26 (10)	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者個々の課題について、各担当職員より抽出し、毎月ミニカンファレンスで問題点・対応策について話し合い、施設だけで対応が困難な場合は状況に応じて家族や医療機関などに相談を行っている。</p>	<p>利用者個々の課題について、各担当職員より抽出し、毎月ミニカンファレンスで問題点・対応策について話し合い、施設だけで対応が困難な場合は、状況に応じて家族や医療機関などに相談を行っている。</p> <p>近所の方が高齢で入居されているのですが、そのご家族のご夫婦が大変よく面倒を見ていただいていると、お聞きしています。</p> <p>毎月請求書に同封されている、利用者本人の写真や健康状態・近況を送っていただき、毎月楽しみにしています。</p> <p>項目に基づき自己評価し実践されていることで、利用者の皆さんが安心して暮らされているものと判断しています。</p>	<p>定期的な開催と、課題があった際には臨時でミニカンファレンスを開催する等、上がった課題に対し、できるだけ速やかに対応できるようにお願いします。課題によっては、包括支援センターとしても協力できる部分もあるかと思しますので、いつでもご相談ください。</p>
27	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録ツールを活用し、利用者の心身の変化があった際には、記録を行い情報共有を行い、必要に応じて毎月のカンファレンスで対応を検討して介護計画の見直しに反映している。</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者の状況に合わせ、求められるニーズに柔軟に対応出来るように、買い物や受診、外泊等対応している。</p>		
29	<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>施設周辺へ散策や外出したり、地域の方々より、門松や野菜などの暖かい支援をいただく機会があり、出来る限りの地域と交流出来るように支援している。</p>		

已 自部外	項 目	外部評価		
		自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容	
30 (11)	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を受診される際は、主治医へ施設での生活状況を記載した情報書を作成している。訪問診療を希望された場合は、協力医療機関より毎月訪問診療がある。	毎月の訪問診療があり安心。最近、歯科医の訪問診療も始まり、助かっています。良好だと存じます。	訪問診療は、継続して行って頂きたい。利用者の皆様の日々の健康管理に努め、急な体調変化にも対応できる体制づくりをお願いします。
31	○看護職との協働  介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は施設看護師と、利用者の健康状態について情報共有を行い、必要に応じてかかりつけ医や協力医療機関へ相談しながら、適切な医療支援を行っている。		
32	○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際には、入院先へ施設での生活状況について情報提供を随時行い、緊急時に備えて毎月持新規利用者や状態観察者について協力医療機関との情報交換を行っている。		
33 (12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の状態変化に合わせて、施設での対応が困難となる前に、ご家族と今後望まれる生活・希望に添える様に、法人施設や協力医療機関と連携している。	本人・家族の望まれる希望に添える様、法人施設や協力医療機関と連携し、支援に取り組まれています。法人の施設に、様々な施設があるため、安心。良好だと存じます。	ご家族も説明を行われると安心と思うので、継続して頂きたい。住み慣れたグループホームで、家族や職員の皆様に見守られながら、最期を迎える事ができる環境作りができると思います。
34	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の状態の急変や、身体へ影響のある事故発生時に備えて、職員全員定められた研修を受講しており、また心肺蘇生法やAEDの取り扱いについても、実技訓練を実施している。		
35 (13)	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害発生時におけるBCPを策定しており、台風や大雨等による施設への影響が考えられる際は、法人関連施設へ事前避難を実施している。	BCPを作成し、防災訓練を実施しています。大雨や台風時には、法人関係施設への避難を実施しています。昨年度から地区の区長を務めているのですが、報道機関よりも敏感に対処されているのにおどろきました。地区への連絡も密にされています。毎回、早めの避難を実施していただき安心します。定期的に防災訓練及び防災教育を実施されており、法人との協力体制も取れていて、事前の避難訓練等実施されている。	入居者、職員の安全のために継続して行って欲しい。自然災害は施設そのものの被害が考えられるので、日頃の機器や設備のメンテナンス、及び老朽化への見極め等が必要です。万一の火災等については、避難訓練等、職員への継続的な体制構築にご尽力下さい。地域住民の方々との連携体制も整っており、有事の際に協力いただけるよう、日頃からの関係作りをお願いします。

己 自部 外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	(14) ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介助する際は、声掛けを行い本人の希望に添った対応をしている。トイレの扉はきちんと閉めるなど、プライバシーの配慮をしている。	寄り添うケアを行わている。優しい声掛けや、否定的な言葉は使用しない様、心掛けされているのに感心します。	声掛けや対応で、疑問に思ったことはないが、環境によって、馴れ馴れしく見える事があるかもしれない為、ケアについて振り返り、指摘しあえる環境を継続して頂きたい。自己評価と実践状況通り、継続して実施願います。一人ひとりの尊重とプライバシーの確保のため、利用者の方々の個性や認知症の状態等の把握に努め、職員間でケアの統一が図れるようお願いいたします。
37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	帰りたいと訴えられる利用者に対しては、傾聴しながら希望する場所へ移動、時には散歩を行い、気分転換を図る支援が出来ている。		
38	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとり一人に合わせた声掛けを行い、休息の時間やリビングでテレビ鑑賞や、体操などの選択が出来ている。		
39	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時に、洗面温タオルで顔を拭いていただき、髪を梳かして整えている。定期的に訪問理容を利用し、希望に添って散髪やカラーの対応をしている。		

已 自部外	項 目	外部評価		
		自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容	
40 (15)	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を提供する時にはメニューを説明しつつ、季節に合った行事食やおやつを提供している。調理中は利用者に味をみていただきながら、一緒に調理をしている。食事後はお盆拭きを行っていただいている。箸で食べるのが難しい方には、スプーンとフォークをセットし、食事形態も併せて提供している。	工夫をして、利用者に合わせ提供しています。食事について、美味しそうで、行事食は特に楽しみにされていると思う。この食事は、うらやましい。季節や行事に合わせ、視覚的にも食事を楽しめる配慮がなされていると思います。利用者と一緒に準備や片付け等行われており、利用者の自立支援にもつながると思われます。	工夫され、できることを入居者・職員と一緒にやっているため、継続して欲しい。自己評価と実践状況通り、継続して実施願います。
41	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ひとり一人の主食量を把握、提供している。毎食後と10時・15時で水分補給をしている。食事量と、水分摂取量はチェックし管理をしている。水分摂取量が少ない方には代替品を提供し、水分確保に努めている。毎月管理栄養士に相談し、安心して食事の提供が出来ている。アレルギーのある方へは、食材を変え提供している。		
42	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの実施を行い、清潔保持に努めている。総入れ歯や部分入れ歯の利用者についても、介助が必要な方は磨き直しの支援を行っている。また夕食後の口腔ケアの際には、入れ歯を預かり、義歯洗浄剤を使用し汚れや臭いが生じないように支援をしている。必要に応じて、家族の了承をいただき、訪問歯科に依頼をしながら診察、ケアを行っていただき、口腔内の清潔保持に努めている。		

已 自部外	項 目	外部評価		
		自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容	
43 (16)	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者それぞれに布パンツやリハビリパンツで対応中であり、定期的にはトイレへ誘導を行っている事で、パッド内の汚染も少なくコスト面も考えながら対応が出来ている。失禁が多く見られる利用者については、その方に合ったパッドを検討しながら使用している。排泄出来る利用者、介助が必要な利用者も全員トイレでの排泄支援を行っている。パッド確認が必要な利用者についても、時間を決めてパッド交換を行っている。	定期的な話し合いで、その方の能力を維持できている。 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立にむけた支援に取り組まれていると思います。	自己評価と実践状況通り、継続して実施願います。 定期的に見直しを行い、自立に向けた支援をお願いします。
44	○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便の有無確認を行い、必要に応じて看護師へ報告している。排便が出ていない利用者については、個々にあった対応を行い、乳製品飲料や内服で調整を行いながら支援をしている。また、どうしてもお通じが出ないことがある場合には、看護師へ報告し、坐薬を挿入している。 排便が出ない時は、肛門周辺のマッサージや腹部マッサージを行いながら、薬に頼らず排泄出来ないか支援している。		
45 (17)	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個浴で、ゆっくりとした時間で入浴を楽しんでいただき、入浴剤や季節に応じて、ゆず湯や菖蒲湯で入浴を楽しんでいただいている。入浴拒否が見られた場合には、無理強いせず、その方に合わせながら時間をずらしたり、他の職員が声を掛けるなどを行い対応している。	入浴の工夫をされている。 利用者の入浴を見学したことがないので分かりませんが、利用者が皆さん清潔感があり臭いも感じられないので、支援がなされていると思われれます。 自己評価に基づき、一つひとつがキチンとマニュアル化され、工夫されたことが伺えます。 利用者様との会話や、個人に合った支援で、喜んで入浴されている姿が目に見えます。 入浴を楽しみにされている方は、多いと思います。	入浴剤を選んでいただいたり、季節を感じる事が出来ると思うので、継続して欲しい。 お湯を入れ替えたり、入浴剤や行事の取り入れ等大変かと思いますが、皆様が入浴を楽しめるように、今後も願います。

已 自部外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室訪室時、温度計を確認し温度や湿度の調整、寝具の調整を行っている。寝具類も毎週1回は交換を行い、気持ちよく眠れるように支援している。 冬場は空気が乾燥するので、洗面台に水を張り、加湿用にバスタオルを各居室の洗面台に掛け調整をしている。		
47	○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の情報は、個々のファイルにて管理を行い、変更や追加があった場合はケース記録に残し、職員が確認出来るようしている。服用する定期薬を職員2人にて確認をしている。服用する時は、一人ずつ読み上げ確認を行っている。服用後の空袋を他の職員にて、飲み忘れがないか確認している。状態変化があれば、主治医との連携で支援している。		
48	○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月々の行事の参加や、その方に合った役割で行事の準備の参加を支援している。地域の祭りでのふれあい、喜びや気分転換、張り合いのある楽しみを提供している。誕生日に嗜好品を提供し、みんなで祝いしたりと支援している。		
49 (18)	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節毎に咲いた花や植物などの見学、散歩の支援に努めている。過ごしやすい気候の時は、ウッドデッキに出て自然や景色を眺めたり支援している。 ご家族の協力の元、病院受診後に外食されたり、ドライブに出掛けられている。	季節に合った場所へ散歩やドライブに出かけています。 季節に合った外出をされている。 継続を希望いたします。	気候の良い日に外出をすると喜ばれる。多くの写真を撮り、ご家族が見ると喜ばれるので、継続して欲しい。 継続して、信頼される施設を目指して頑張ってください。 利用者の方々の気分転換や、地域との交流の機会を確保するためにも大変かと思いますが、今後も外出や外食等の非日常を楽しめる企画をお願いします。

已 自部 外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持は、個々には所持して いなく預かり金として管理している。 外出支援した時に、預かり金を一人 ひとりに所持していただき支払いが 出来るよう支援している。		
51	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、 手紙のやり取りができるように支援をしてい る	リビングの固定電話より、家族や知 人の方と電話をしている。iPadの動 画電話にて、家族の顔を見ながら話 される支援を行っている。手形をとつ た手紙をお年賀に送っている。コメ ントが記入出来ない方については、 職員が対応している。 毎月、利用者の近況報告を写真付 きにて作成し、ご家族様へ郵送して いる。		
52 (19)	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、 浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混 乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度 など）がないように配慮し、生活感や季節感 を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫 をしている	職員で利用者同士の相性を考え、 座席配置をしている。リビングのテ レビの音は雑音にならないよう、音 量には注意している。季節に添った 壁飾りを飾っている。	利用者の方が居心地よく過ごせる工夫 がされています。 季節に合った設えが行われている。 施設内の温度管理等は行われている。 居心地のより共有空間づくりのために、 環境整備に配慮されていると思いま す。	季節を感じることは、その季節を 思い出す会話になると思うので、 継続して頂きたい。 継続して、信頼される施設を目指 して頑張ってください。 今後も利用者の方と一緒に、心地 よい空間づくりに努めてください。
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合っ た利用者同士で思い思いに過ごせるような居 場所の工夫をしている	窓際に椅子を置き、外を眺めながら 気分転換を図れるようにして支援し ている。一人一人の個室がある為、 独りになれる環境が出来ている。		
54 (20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と 相談しながら、使い慣れたものや好みのもの を活かして、本人が居心地よく過ごせるような 工夫をしている	居室内に、ご自宅から持参された家 具や御家族の写真、化粧品等ご自 分の物を置き、使い慣れた物を置く 事で過ごしやすい環境を作ってい る。	その方に合った、空間づくりが出来てい る。 居心地よく過ごせる居室の配慮のため、 利用者の方の使い慣れた物や写真等 を、持ち込むことができるよう配慮されて いると思います。	その方の思い出の物や、使い慣 れた物があると安心につながるた め、継続して頂きたい。 継続して、信頼される施設を目指 して頑張ってください。
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」「わか ること」を活かして、安全かつできるだけ自立 した生活が送れるように工夫している	共有部分では日常の生活協力動作 （洗濯物畳みや干したり、食器洗い） を行い、職員と一緒に見守り、必要 とされているといった実感を感じて いただけるよう支援介助行ってい る。		

已 自部外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容